

第47回コンピュータ会計能力検定試験 問題用紙

2 級

(令和5年12月9日施行)

問題用紙は回収します。持ち帰り厳禁です。

CD-ROMは持ち帰りできます。

解答用紙は、問題用紙にはさみ込んでありますので、試験担当者の指示にしたがって、
ていねいに取りはずしてください。

注 意

- ・試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- ・この試験問題は、全部で15ページです。
- ・この試験の制限時間は1時間30分です。
- ・解答は、問題の指示にしたがい、すべて解答用紙の指定の位置に記入してください。
- ・解答用紙の所定の位置に、試験会場、氏名、受験番号を必ず記入してください。
記入もれがある場合には採点の対象とならない場合があります。
- ・印刷の汚れや乱丁、パソコン機器の不具合等で必要のある場合は手をあげて試験担当者に合図をしてください。
- ・試験開始後、第2問は、CD-ROMに保存されている「南西電子販売株式会社」の会計データを、第3問は、同じく「湖水通商株式会社」の会計データを、パソコンにリストアしてから処理をおこなってください。
- ・会計ソフト以外のソフトウェア（表計算等）や電卓などの使用も認めます。

主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省

コンピュータ会計の知識

第1問 次の各文章において【 】に入るべき数字・字句，または【 】内の字句のうち正しいものを，(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。(10点)

- (1) 市販会計ソフトで製造原価報告書(明細書)を出力する際に，「期首仕掛品原価+当期総製造費用-期末仕掛品原価」の計算によって表示される原価を【 売上原価・個別原価・当期製品製造原価・期末総合原価 】という。
- (2) 製造業A社は，市販会計ソフトの導入設定段階で，製造原価に関する勘定科目を使用できるように設定した。その後，期中の取引入力を経て，期末の製造原価報告書(明細書)に表示された当期総製造費用は400,000円，期首仕掛品原価は200,000円，期末仕掛品原価は100,000円であった。A社の期首製品在庫は無く，当期完成した製品はすべて当期に販売された(売上高は1,000,000円)。以上の金額のみから判断して，この時点で出力された損益計算書において売上総利益は【 】円となる。
- (3) 市販会計ソフトが出力できない会計帳簿または会計情報は【 商品有高帳・預金出納帳・支払予定表・残高試算表・回収予定表・損益分岐点分析情報 】である。
- (4) 小売業B社の会計期間は4月1日～3月31日である。B社は20X1年9月1日から新しい市販会計ソフトを導入することにした(月次決算をおこなう)。20X1年8月31日時点の残高試算表が作成されている。また，20X1年3月31日時点の商品在庫額が800,000円，20X1年8月31日時点の商品在庫額が600,000円とわかっている。B社は導入処理にあたり，20X1年8月31日時点の残高試算表金額によって，各勘定残高を相手勘定「諸口」として振替伝票から入力することにした。また，20X1年4月1日～同年8月31日の純仕入高は4,000,000円であった。導入処理の振替伝票で「期首商品棚卸高」勘定の借方に入力すべき金額は【 】円である。
- (5) 上記(4)と同じ条件のもとで，導入処理の振替伝票で「期末商品棚卸高」勘定の貸方に入力すべき金額は【 】円である。

会計処理

第2問 南西電子販売株式会社の会計データを入力し、年次決算をおこなって、解答用紙に示した貸借対照表と損益計算書の各科目の金額を求めなさい。(50点)

南西電子販売株式会社は、2023年3月から会計ソフトによる処理を導入している。期首(2022年4月1日)から導入する前月(2023年2月)までの会計データ、および3月24日より前までの3月分の会計データは、入力処理済みである。

3月24日以降の会計データと決算資料(9ページから11ページ)にもとづいて、必要な会計処理をおこないなさい。なお、決算資料の中のXX円となっている金額は、各自が計算・判断すること。

<付記事項>

- (1) 会計期間は毎年4月1日から翌年3月31日までである。
- (2) 事業内容は、電子機器部品の卸売業である。
- (3) 取引先および取引条件等は次の表のとおりである。

得意先	さつま工業(株)	たまな工業(株)	うらぞえ工業(株)
売上計上日	検収書受領日	検収書受領日	検収書受領日
回収条件	月末締め・翌月末払い	月末締め・翌々月10日払い	月末締め・翌々月20日払い
回収方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

仕入先	クシマ電子(株)	カノヤ電子(株)	ミヤザキ電子(株)
仕入計上日	納入検収日	納入検収日	納入検収日
支払条件	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い
支払方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

- (4) 入力にあたっては、入力済みのデータも参照すること。
- (5) 勘定科目および補助科目の新規設定はおこなわないこと。
- (6) 消費税処理の設定は税抜経理方式・内税入力であるが、「売上高」と「仕入高」は外税入力の設定としている。

この問題は、CD-ROMに保存されている「**南西電子販売株式会社**」の会計データをパソコンにリストアしてから処理をおこなってください。

3月28日(火)

① 振込依頼書作成

総合振込依頼書										
沖水銀行 殿					取組指定日		2023年3月31日			
ご依頼人名		フリガナ		ナンセイデンシハンバイカブシキガイシャ				枚中/枚目		1 / 1
		ご連絡先電話番号		33 - 123 - 4567						
送信番号	銀行	支店	預金種目	口座番号	振込先	金額	電信指定	手数料	照査印発行印	
	指宿	中町	普通	0123123	八代産業(株)	66,000		440		
	都城	本店	普通	0123456	日南興業(株)	110,000		440		
	宇城	中央	普通	0234567	枕崎不動産(株)	176,000		440		
	与論	上町	普通	0123654	ナゴ運送(株)	371,800		440		
			普通							
					小計	件	723,800	小計	1,760	
					合計		723,800	合計	1,760	

(注) 八代産業(株)は駐車場使用料, 日南興業(株)は倉庫家賃, 枕崎不動産(株)は事務所家賃, ナゴ運送(株)は運送費の支払先である。

② 得意先から届いた振込通知書

2023年3月28日	
振込通知書	
南西電子販売株式会社 様	
さつま工業株式会社	
締切日 2023年2月28日	
購入金額合計 ○件 3,520,000円	
(2月1日~2月28日)	
(振込日: 2023年3月31日)	

3月31日（金）

① 小口現金の補充

小口現金補充のため、普通預金 167,310 円を引き出した。

小口現金出納帳集計表	
2023年3月21日～31日	
科 目	税 込 金 額
福 利 厚 生 費	0 円
広 告 宣 伝 費	17,380 円
交 際 費	13,640 円
旅 費 交 通 費	16,060 円
通 信 費	15,400 円
消 耗 品 費	13,860 円
事 務 用 品 費	17,160 円
修 繕 費	16,720 円
車 両 費	47,300 円
租 税 公 課	0 円
雑 費	9,790 円
合 計	167,310 円

2023年3月31日
出納係 印

② 精算

3月中に従業員に対して交通費の概算を手渡していた。本日すべての精算をおこない、不足分 1,400 円を現金で渡した。なお、精算した金額には、交通費（税込）以外に事務用品費 15,400 円（税込）と収入印紙代 8,000 円が含まれており、領収証を受け取った。

③ 普通預金通帳の記帳結果

普通預金						
	年-月-日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高	
1	2023. 3. 24	繰越残高			8,436,224	
2	2023. 3. 24	引出	2,500,000		5,936,224	
3	2023. 3. 24	電気	36,520		5,899,704	
4	2023. 3. 27	電話	39,380		5,860,324	
5	2023. 3. 27	水道	15,620		5,844,704	
6	2023. 3. 28	電話	58,740		5,785,964	
7	2023. 3. 28	振替	217,484		5,568,480	
8	2023. 3. 29	水道	14,520		5,553,960	
9	2023. 3. 29	電話	41,580		5,512,380	
10	2023. 3. 29	振替	90,200		5,422,180	
11	2023. 3. 29	振替	96,800		5,325,380	
12	2023. 3. 30	振替	93,000		5,232,380	
13	2023. 3. 30	引出	730,000		4,502,380	
14	2023. 3. 31	引出	167,310		4,335,070	
15	2023. 3. 31	振込		3,520,000	7,855,070	
16	2023. 3. 31	振替	66,000		7,789,070	
17	2023. 3. 31	振替	110,000		7,679,070	
18	2023. 3. 31	振替	176,000		7,503,070	
19	2023. 3. 31	振替	371,800		7,131,270	
20	2023. 3. 31	振込手数料	1,760		7,129,510	

(注) 2023. 3. 28 振替 217,484 円は沖水銀行への返済。

2023. 3. 29 振替 90,200 円は糸満リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2023. 3. 29 振替 96,800 円は人吉リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2023. 3. 30 振替 93,000 円はヒオキ損害保険への支払, 「保険料」勘定を使用する。

〔決算資料〕

(1) 残 高

① 現 金

手許現金残高	XXX, XXX 円
--------	------------

② 預 金

<u>残 高 証 明 書</u>	
南西電子販売株式会社 様	
2023年3月31日	
預金種類	残高
普通預金	7,129,510 円
定期預金	13,300,000 円
定期積金	9,300,000 円
2023年4月4日	
沖水銀行 豊島支店	

③ 売掛金

得意先への確認済み残高

2023年3月31日

さつま工業株式会社	1,408,000 円
たまな工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
うらぞえ工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

④ 買掛金

仕入先への確認済み残高

2023年3月31日

クシマ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
カノヤ電子株式会社	18,018,000 円
ミヤザキ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

⑤ 預り金

源泉所得税	XXX,XXX 円
住民税	XX,XXX 円
社会保険料	9,000 円

⑥ 長期借入金

5 ページ借入金返済予定表参照

(2) 棚卸処理

商品棚卸表

2023年3月31日

種類	仕入単価	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	実地棚卸金額
N-10	1,200 円	200	200	240,000 円
A-20	1,400 円	100	100	140,000 円
S-30	1,500 円	300	300	XXX,XXX 円
E-40	1,900 円	300	290	XXX,XXX 円
I-50	2,200 円	400	400	880,000 円
合計				X,XXX,XXX 円

上記の棚卸表のとおり、実地棚卸の結果、E-40 が帳簿棚卸に対して 10 個不足していることが判明した。この不足分については、棚卸減耗として売上原価に含めることとする。

(3) 減価償却

次の固定資産台帳および減価償却明細表のデータにもとづいて、当期の減価償却費を計上する。

固定資産台帳・減価償却明細表

2022年4月1日～2023年3月31日

(金額単位：円)

種類	取得年月日	取得価額	償却方法	耐用年数	償却率	当期償却額
(車両運搬具)						
乗用車	2021年1月	3,000,000	定率法	6	0.333	610,860
乗用車	2022年2月	3,200,000	定率法	6	0.333	1,006,459
計		6,200,000				X,XXX,XXX
(備品)						
エアコン	2020年2月	320,000	定率法	6	0.333	44,776
応接セット	2020年2月	280,000	定率法	8	0.250	37,734
計		600,000				XX,XXX
合計		6,800,000				X,XXX,XXX

(4) その他

① 運送費

運送費は 10 日締めで月末払いとしており、締め日以降（3 月 11 日から 31 日まで）に発生した運送費について、「未払費用」勘定を利用して費用計上する。

3 月 11 日～31 日分の運送料計算書の合計額	1,018,600 円（税込金額）
---------------------------	-------------------

② 地代家賃

「地代家賃」勘定の補助元帳には、1 か月分の前払い分が含まれているため、それぞれ 13 か月分の家賃が計上されている。前払い分を「前払費用」勘定に振替処理する。

事 務 所	176,000 円（税込金額）
倉 庫	110,000 円（税込金額）
駐 車 場	66,000 円（税込金額）

③ 消費税等の計上

当期の確定消費税の金額は次のとおりである。

当期確定消費税額等	6,173,500 円
-----------	-------------

前年 11 月に支払った消費税の中間納付額との差額を「未払消費税等」勘定に計上する。消費税の中間納付額は、11 月の「仮払消費税等」勘定の借方に計上されている。

なお、「仮受消費税等」勘定と「仮払消費税等」勘定との振り替えにより生じる端数差額は、雑収入とする。この雑収入は、消費税課税対象外として処理する。

④ 法人税等の計上

当期の法人税，法人都民税，法人事業税，地方法人特別税が次の金額に確定した。

	確定法人税額等
法 人 税	1,289,600 円
法 人 都 民 税	406,600 円
法 人 事 業 税 ・ 特 別 税	432,800 円
合 計	X,XXX,XXX 円

前年 11 月に支払った法人税，法人都民税，法人事業税等の中間納付額との差額を、「未払法人税等」勘定に計上する。

なお，中間申告による納付額合計は，11 月の「仮払法人税等」勘定の借方に計上されている。

会計情報の活用

第3問 次の各文章において、【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(10)の解答欄に記入しなさい。湖水通商株式会社に関する問題は、会計ソフトに組み込まれた機能を利用してえられた数値にもとづき解答すること。なお、金額以外の数字による解答については、求める表示形式上の小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記入すること。(20点)

<経営分析>

- (1) 湖水通商株式会社の決算を含む第4期末における売上高営業利益率は11月末残高によるもの比べて好転【ア. している。 イ. していない。】
- (2) 湖水通商株式会社の第4期12月末残高における流動比率は【 】%である。
- (3) 湖水通商株式会社の決算を含む第4期末における総資本営業利益率は【 】%である。
- (4) 湖水通商株式会社の売上高を半期に分けて検討する。下半期(10月～3月)の上半期(4月～9月)に対する売上高増加率は【 】%である。

<損益分岐点分析>

- (5) 湖水通商株式会社は、同社の損益計算書に計上される営業費用の固定分解にあたって、売上原価項目と支払手数料については変動費比率100%、荷造運賃については固定費比率80%、旅費交通費については変動費比率60%、その他の営業費用については固定費比率100%としている。また、営業外収益・営業外費用・特別損益を構成する各項目は分析に用いない。決算仕訳を含む第4期の限界利益率は【 】%である。
- (6) 湖水通商株式会社第4期のうち、安全余裕率からみて業績が悪いほうの月は【ア. 5月 イ. 11月】である。
- (7) 湖水通商株式会社は第5期1年間の利益計画を策定する際、決算仕訳を含む第4期実績に対して、売上高を20%増加、固定費を5%減少、変動費率を10%増加と予測し第5期を試算する。この試算による第5期の損益分岐点売上高は【 】円である。

<予算管理>

- (8) 製造業X社の製造間接費予算額は4,400,000円である。この予算期間において有利な予算差異200,000円が生じた。X社のこの予算期間の製造間接費実際額は【 】円である。
- (9) 卸売業Y社の売上総利益は、予算・実績とも、東日本地域と西日本地域の地域別に管理されている。翌会計年度の売上高予算は東日本地域が1,800,000円、西日本地域が1,400,000円であった。また、実績の売上原価率は両地域とも50%であった。翌年度の予算上の売上原価率は当年度に比べて東日本地域が10ポイント増加、西日本地域が10ポイント減少と見積もられている。この条件で、両地域を合わせた翌年度の全社の売上高売上総利益率は【 】%である。
- (10) 小売業Z社の第3期会計年度の期末商品棚卸高実績は800,000円であった。第4期の予算編成にあたり、商品仕入高を3,800,000円、期末商品棚卸高を400,000円、売上原価率を60%と見積もったときの売上高予算は【 】円である。

第4問 A社における7月の資料1の実績貸借対照表および実績損益計算書（14 ページ）から、資料2の実績資金繰り表および資料3の資金増減原因表（15 ページ）を作成し、下記の間1と間2に答えなさい。（20 点）

＜実績資金繰り表＞

問1 7月の資金繰り表について、次の文章中の【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。

- ・ 経常収入合計は、【 (1) 】円である。
- ・ 人件費支払は、【 (2) 】円である。
- ・ 経常収支過不足は、【 (3) 】円不足である。
- ・ 財務収支過不足は、【(4) ア. 過剰 イ. 不足】である。
- ・ 収支過不足合計は、【 (5) 】円不足である。

＜資金増減原因＞

問2 7月の資金増減原因について、次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(6)～(10)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・ 資金の増加原因を金額の大きい順に列挙すると、 , があげられる。
- ・ 資金の減少原因を金額の大きい順に列挙すると、 , , があげられる。

語 群

ア	売掛金の増加	イ	借入金の増加	ウ	設備の処分	エ	設備の購入
オ	売掛金の減少	カ	借入金の返済	キ	買掛金の増加	ク	在庫の減少
ケ	損失の発生	コ	利益の発生	サ	買掛金の減少	シ	在庫の増加

<資料1>

<A社>

7月の実績貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現金・預金	4,753,200	20,403,000	21,276,700	3,879,500
売掛金	39,264,000	20,930,000	19,803,000	40,391,000
商品	2,086,000	1,987,000	2,086,000	1,987,000
備品	600,000	300,000		900,000
減価償却累計額	-48,000		16,000	-64,000
資産合計	46,655,200	43,620,000	43,181,700	47,093,500
買掛金	31,623,000	13,986,000	13,312,000	30,949,000
短期借入金	8,600,000		600,000	9,200,000
資本金	5,000,000			5,000,000
利益剰余金	1,432,200		512,300	1,944,500
負債・純資産合計	46,655,200	13,986,000	14,424,300	47,093,500

<A社>

7月の実績損益計算書

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売上高	58,862,300		20,930,000	79,792,300
売上原価				
期首商品棚卸高				
当期商品仕入高	42,241,600	13,312,000		55,553,600
合計	42,241,600	13,312,000		55,553,600
期末商品棚卸高	2,086,000	2,086,000	1,987,000	1,987,000
売上原価	40,155,600	15,398,000	1,987,000	53,566,600
売上総利益	18,706,700		7,519,000	26,225,700
販売費一般管理費				
人件費	8,245,600	3,369,200		11,614,800
減価償却費	48,000	16,000		64,000
営業経費	8,916,000	3,598,600		12,514,600
販売費一般管理費計	17,209,600	6,983,800		24,193,400
営業利益	1,497,100		535,200	2,032,300
営業外費用				
支払利息	64,900	22,900		87,800
経常利益	1,432,200		512,300	1,944,500
当期純利益	1,432,200		512,300	1,944,500

(注)・売上と仕入はすべて掛取引で、値引・返品および現金販売・現金仕入はない。

- ・売掛金の回収・買掛金の支払は、すべて預金口座への振込でおこなっている。
- ・人件費・営業経費・利息の支払は、すべて現金または預金でおこなっている。
- ・備品は、現金で購入している。

<資料 2 >

< A社 > 7月の実績資金繰り表

(単位：円)

資金繰り項目		7月
経 常 収 支	現金売上	
	売掛金回収	
	営業外収入	
	経常収入合計	
	現金仕入	
	買掛金支払	
	人件費支払	
	営業経費支払	
	営業外費用	
	経常支出合計	
	経常収支過不足	
設 備 等 収 支	設備等売却収入	
	設備等購入支出	
	設備等収支過不足	
財 務 収 支	借入金借入	
	借入金返済	
	財務収支過不足	
収支過不足合計		
月初現預金残高		
月末現預金残高		

<資料 3 >

< A社 > 7月の資金増減原因表

(単位：円)

	資金増加	資金減少
損益の状況		
非資金費用		
売掛金の状況		
買掛金の状況		
在庫の状況		
設備等の状況		
借入金の状況		
合計		
資金の増減結果		

第47回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

2 級

(令和5年12月9日施行)

- この解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、
ていねいに取りはずしてください。
- 解答は、すべて解答用紙の指定の位置に記入してくだ
さい。



主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

第47回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

コンピュータ会計の知識

第1問 (10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

第4問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

会計情報の活用

--

会計処理

第2問 (50点)

南西電子販売株式会社

貸借対照表 (2023年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	
(2)	売掛金 (うらぞえ工業(株)分)	
(3)	流 動 資 産 合 計	
(4)	買掛金 (ミヤザキ電子(株)分)	
(5)	未 払 消 費 税 等	

南西電子販売株式会社

損益計算書 (2022年4月1日
~2023年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 原 価	
(2)	通 信 費	
(3)	水 道 光 熱 費	
(4)	雑 収 入	
(5)	当 期 純 利 益	

会計処理

--

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

第47回コンピュータ会計能力検定試験 標準解答

2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

コンピュータ会計の知識

第1問 (@ 2点 × 5 = 10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
当期製品 製造原価	500,000	商品有高帳	800,000	600,000

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
イ	165.5	3.6	13.7	30.8
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
ア	300,318,740	4,200,000	48.8	7,000,000

第4問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
19,803,000	3,369,200	1,173,700	ア	873,700
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
イ	コ	ア	サ	エ

会計情報の活用

会 計 処 理

第2問 (@ 5点 × 10 = 50点)

南西電子販売株式会社

貸借対照表 (2023年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	180,106
(2)	売掛金 (うらぞえ工業(株)分)	25,740,000
(3)	流 動 資 産 合 計	79,778,616
(4)	買掛金 (ミヤザキ電子(株)分)	8,338,000
(5)	未 払 消 費 税 等	4,090,900

南西電子販売株式会社

損益計算書 (2022年4月1日 ~ 2023年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 原 価	169,683,200
(2)	通 信 費	1,208,600
(3)	水 道 光 熱 費	1,096,600
(4)	雑 収 入	170
(5)	当 期 純 利 益	4,929,807

会計処理